

みずほCustomer Desk Report 2017/01/25 号(As of 2017/01/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.77 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.80	1.0758	121.35	0.9975	1.2510	0.7583
SYD-NY High	113.89	1.0775	122.21	1.0019	1.2546	0.7609
SYD-NY Low	112.52	1.0720	121.21	0.9960	1.2419	0.7554
NY 5:00 PM	113.79	1.0730	122.15	1.0008	1.2520	0.7579
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.105/12.505		Δ 25RR	0.530	Yen Call Over	

NY DOW	19,912.71	112.86	債券市場	日本2年債	-0.2330	▲ 0.6bp
NASDAQ	5,600.96	48.01		日本10年債	0.0520	▲ 0.5bp
S&P	2,280.07	14.87		米国2年債	1.1924	4.9bp
日経平均	18,787.99	▲ 103.04		米国5年債	1.9331	7.0bp
TOPIX	1,506.33	▲ 8.30		米国10年債	2.4652	6.8bp
シカゴ日経先物	19,080	140.00	為替市況	独10年債	0.4080	4.5bp
ロンドンFT	7,150.34	▲ 0.84		英10年債	1.4020	3.5bp
DAX	11,594.94	49.19		豪10年債	2.6950	▲ 6.2bp
ハンセン指数	22,949.86	51.34		USD/CNH	6.8160	0.0033
上海総合	3,142.55	5.78		ドルインデックス	100.29	0.13
USDJPY 3M Vol	12.30	▲ 0.08%	商品市況	CRB指数	194.947	0.51
USDJPY 6M Vol	12.25	▲ 0.12%		NY金	1,213.60	▲ 4.90
EURJPY 3M Vol	10.56	0.03%		WTI	53.18	0.43
EURJPY 6M Vol	11.94	▲ 0.03%		Dubai Spot	53.34	0.43

東京	東京時間朝方、ムニー次期財務長官より「過度なドル高は短期的にはマイナスの影響がある」との考えを示していたことが伝わると、ドル円は113円台を割り込み一時安値112.52まで下落。その後、やや持ち直して112.80レベルで東京時間オープン。日経平均株価が安寄り後、下げ幅を縮小する流れにドル円も113円台前半まで上昇する場面が見られたものの、依然として上値は重く、徐々に112円台後半まで押し戻される展開。その後、特段新規材料に乏しい中、112円台後半から113円にかけての狭いレンジ内での値動きが続き、113.01レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113.01レベルでオープン。目立った材料がない中、横ばいの値動きとなり113.38レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2498レベルでオープン。英最高裁判所からのEU離脱手続きの開始には議会の承認が必要との結果を受け、ポンドドルは一時1.24台前半まで急落。その後、1.25辺りまで反発する局面も見られたが、再び売り圧力が強くなり1.2420レベルでNYへ渡った。ユーロ円は121.45レベルでオープン。ユーロ圏1月総合PMI指数が予想を小幅に下回る結果となったが、市場の反応は限定的。121.77レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.38レベルでオープン。朝方発表された米12月マークイット米国製造業PMIは予想を上回るが、市場への影響は限定的。その後発表された米12月中古住宅販売件数が予想を下回り、4ヵ月ぶりの減少となるとドル円は一時112.90まで下落。しかし前回値が上方修正されたことや、ユーロ円・ポンド円などのクロス円が上昇したことなどからドル円は113円台前半まで反発。さらにトランプ米大統領がバマ政権時に環境問題への配慮で拒否されたカナダ・エネルギー大手によるキーストン・パイプライン案件(日量80万バレルをカナダから米国へ輸送)の大統領令に署名したことから、素材セクターを中心に米株が上昇し、ドル円は高値113.89まで上昇した。その後も本邦大手自動車メーカーが米インディアナ州で設備投資し、追加雇用をするとの報道等々からドル円は113円台後半まで底堅く推移し、113.79レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.0742レベルでNYオープン。朝方は特段材料のない中、一時高値1.0775をつけるが、その後米株・米長期金利の上昇を受けてドル買いが強まり、1.0720まで下落して1.0730レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 濱・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月24日	17:30	独 マークイット製造業/サービス業/総合PMI・速報値	1月 56.5/53.2/54.7	55.4/54.5/55.3
	18:00	欧 マークイット製造業/サービス業/総合PMI・速報値	1月 55.1/53.6/54.3	54.8/53.8/54.5
	18:30	英 EU離脱に関する最高裁判所判決	-	-
1月25日	23:45	米 マークイット製造業PMI・速報値	1月 55.1	54.5
	0:00	米 中古住宅販売件数	12月 5.49M	5.52M
	0:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	1月 12	7
	1:00	欧 プラートECB理事講演	-	-
	3:00	欧 ラウテンシュレーガーECB理事講演	-	-

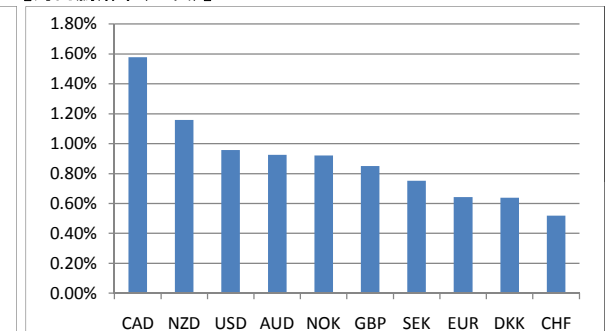
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月25日	8:50	日 貿易収支	12月 ¥281.1B	¥150.8B
	9:30	豪 CPI(前期比/前年比)	4Q 0.7%/1.6%	0.7%/1.3%
	9:30	豪 CPI-リム平均値(前期比/前年比)	4Q 0.5%/1.6%	0.4%/1.7%
	18:00	独 Ifo景況感/期待/現況指数	1月 111.3/105.8/117.0	111.0/105.6/116.6
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	0.8%
	22:15	独 バイトマン独連銀総裁講演	-	-
1月26日	1:00	英 カーニ-BOE総裁講演	-	-
	6:45	NZ CPI(前期比/前年比)	4Q 0.3%/1.2%	0.3%/0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.50	1.0700-1.0850	121.00-124.20

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は、緩やかに円安方向を試す展開。昨日のドル円市場は欧州時間こそ113.40付近でのみ合い推移が続いたものの、イラクがOPEC合意に基づく減産合意が近いと発表したことを材料に原油価格や非鉄金属価格などが上昇。これを受け、債券市場の下落を通じた米債利回りの上昇や、素材株の上昇などを通じてS&P指数やナスダック総合指数が過去最高値を更新したことを受け、ドル円は一段の上昇を試す展開となり、113.90付近まで円安が進行した。トランプ大統領の就任や、Brexitをめぐる最高裁判決といった市場の注目を大きく集めた材料を終え、徐々に市場の注目は来週の米FOMCに移っていくと思われるが、米新政権からのドル高けん制発言もみられるなか、まずは114円台に到達するかどうか注目にしたい。